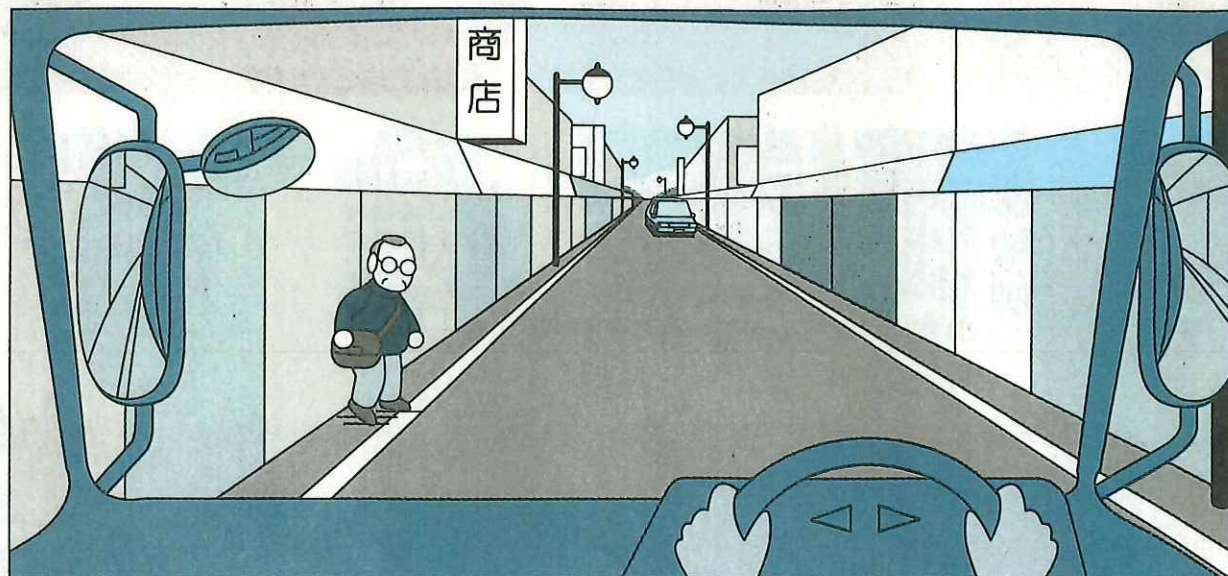


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 144 回〕「道路の狭い商店街」

状況

あなたは、準中型トラックを運転して、センターラインのない狭い道路の商店街を走行しています。左前方には、こちらを向いている高齢者がいます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



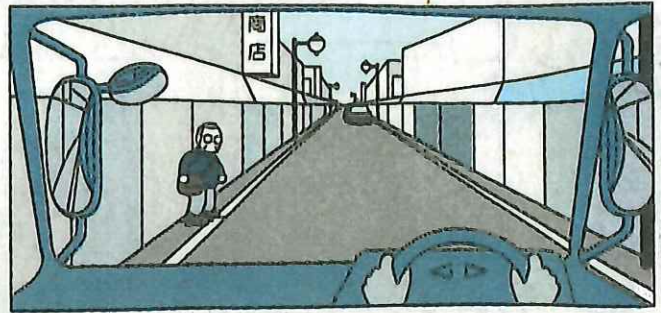
○ ◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

あなたは、準中型トラックを運転して、センターラインのない狭い道路の商店街を走行しています。左前方には、こちらを向いている高齢者がいます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ①道路を横断してきた高齢歩行者と衝突する危険があります(図1)。
- ②対向車を避けようとして看板に接触する危険があります(図2)。
- ③対向車の後ろから出てきた歩行者や自転車と衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ①自車の左前方にこちらを向いている高齢歩行者が見えており、高齢歩行者が道路を横断してくることが考えられます。高齢者の中には「車は止まってくれるものだ」と考えて、安全を確認せずに横断してくることがあります。漫然と運転していると、道路を横断してきた高齢歩行者と衝突する危険があります。歩行者の保護は、プロのトラックドライバーとしての責務です。この場面では、一時停止して高齢歩行者の横断を優先させましょう。
- ②高齢者の先には、対向車が近づいています。狭い道路でのすれ違いは、衝突の危険があるので停止して対向車に道を譲りましょう。ただし、安易に左に寄ると、看板やひさしに接触する危険があります。トラックは車体が高いため、左側に寄るときには上方の状況にもよく目を配り、看板などに衝突する危険がないか確認しましょう。その場合、自分の運転するトラックの車高を理解していないと的確な判断ができないので、自分が運転する車の車高や車幅をしっかり把握しておくことが大切です。
- ③この場面のような狭い道路の商店街を通行する歩行者や自転車は、自分の庭の延長のように考えていることなどから、対向車が通過した直後に道路に飛び出してくることがあります。側方を通過する時は、歩行者や自転車の飛び出しを予測するとともに、いつでも停止できるよ

図1

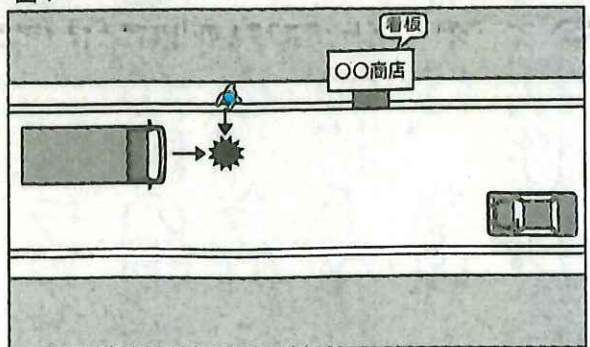


図2

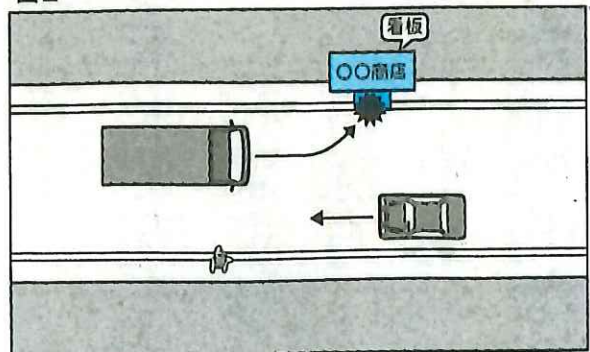
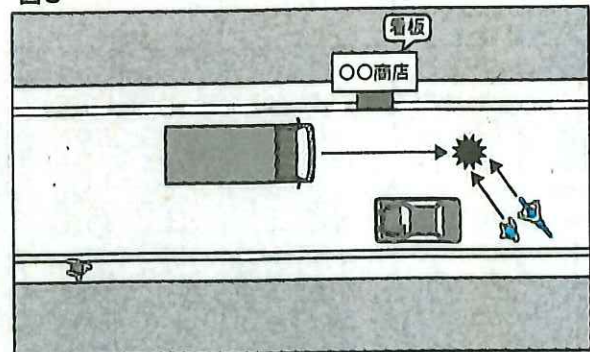


図3



う徐行しましょう。また、対向車が停止し道を譲られた時でも、早く行こうとせず安全確認をしっかり行いながら慎重に通過しましょう。